

商品名

シャープー メタルフリーボンド

シャープーメタルフリーボンドは、1成分形湿気硬化型特殊変成シリコン系で、金属触媒を使用しない弾性接着剤です。様々な規制により重金属化合物の使用量が制限される、自動車、電子材料や建築などの工業用弾性接着剤として用いることが可能です。

重金属フリーであるため、人体にも環境にも優しい接着剤になっています。

弾性接着剤としては各種被着体への接着性が良好で、熱膨張係数が異なる異種材料の接着も可能です。

■特長

- ◇重金属フリーの弾性接着剤
グローバル環境規制に対応した、人にも環境にも優しい弾性接着剤。(錫系触媒には環境ホルモンの疑いがある副生成物を含むものがあり、欧州を始めとする先進国で規制する方向に進んでいる)
- ◇速硬化タイプ
表面硬化が速く、早い仕上げが可能。
- ◇各種被着材への接着性が良好
アルミ、ステンレスなどの金属から、PC、PAなどのエンブラへの接着性良好。

■用途

- ・重金属触媒に対して環境対応が求められる工業分野での接着剤として用いることが可能
- ・熱膨張率の異なる材料の接着・・・プラスチックと金属、ガラス・タイルとプラスチックまたは金属の組合せ等
- ・凸凹のある下地や表面材への充填接着
- ・温度変化の激しい部分へのシール、接着

■性状・性能

・一般性状

商品名	シャープーメタルフリーボンド
製品コード	MSC1-23
クラス	—
外観	ペースト状
混合比	—
色	ホワイト
有効期限	18ヶ月
粘度(Pa・s)	300~600/23℃
施工温度範囲	5℃~35℃
適応温度範囲	-30℃~90℃
塗装性	可

・硬化性(目安)

硬化条件	硬化皮膜の厚み(日数)			
	2mm	5mm	10mm	15mm
5℃*50%RH	3	7以上	—	—
23℃*50%RH	1.5	7	10	—
50℃*50%RH	0.5	4	7	10

・硬化物物性(JIS K 6251 ダンベル状 3号形)

50%引張応力	(N/mm ²)	0.50
最大引張応力	(N/mm ²)	1.37
破壊時の伸び率	(%)	250
硬度	(Shore-A)	40

・JIS A 5758 又は JIS A 1439 に基づく性能

密度(g/ml)			1.38
タックフリー(分)	23℃	30	
押し出し性(秒)	23℃	3~5	
体積損失(%)			8





・せん断引張接着強度(JIS A 1439)

	引張条件	最大引張応力(N/mm ²)	破壊状況	使用プライマーなし 被着体: ステンレス
養生後	23℃	1.06	凝集破壊	
加熱後(90℃)	23℃	1.18	凝集破壊	
水浸せき後	23℃	0.70	凝集破壊	

・各種被着材に対する接着性(ノンプライマー)

被着材	接着性	被着材	接着性
アルミ	○	PS(ポリスチレン)	○
ステンレス	○	PA(ポリアミド)	○
ガラス	○	PVC(ポリ塩化ビニル)	○
FRP	○	PPO(変成ポリフェニレンエーテル)	○
PC(ポリカーボネイト)	○	PET(ポリエチレンテレフタレート)	○

○: 接着性良好(強い接着性が必要な場合は専用プライマーP-50をご使用下さい)

■適用プライマー

適用被着体	商品名	備考
塗装金属、金属板	シャーププライマーP50	黄変性なし(耐候)

■留意事項

- 降雨、降雪時の施工は避けて下さい。
- 下地が濡れている場合は施工を避けて、十分に乾燥していることを確認の上施工して下さい。
- 被着面の油、ゴミなどの清掃には、溶剤を浸した布等できれいに清掃して下さい。
- 溼り物(アスファルトなど)の上に塗布すると接着面を冒しますので使用しないで下さい。
- 保蔵状態や期間によっては容器内で黄変することがありますが、性能に影響ありません。

■注意事項

- ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて手袋等の保護具を着用して下さい。
- ・プライマーP50の取扱い時には、火気や静電気に注意し、十分に換気を良くしてお使い下さい。また必要に応じて有機ガス用保護マスク、保護眼鏡をご使用下さい。
- ・廃棄処理は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。
- ・目に入った場合は、速やかに多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませて吐き出させて、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- ・子供の手の届かない冷暗所に保管して下さい。
- ・本品は建築用に開発された製品ですので、本用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- ・*詳細の説明は、SDS(製品安全データシート)をご参照下さい。

■荷姿

- シーリング材
メタルフリーボンド・・・320ml カートリッジ×5本/段ボールケース

★お客様へ 本カタログに記載している情報及びデータは、当社の実験により細心の注意を払っていますが、ご使用に際しては貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。また、記載の荷姿、仕様に関しては断りなく変更する場合がございます。



<http://www.sharpchem.co.jp>
info@sharpchem.co.jp

■大阪本社
〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町 12-1
TEL 072-268-0321 FAX072-268-0326

■東京営業所
〒135-0016 東京都江東区東陽 5-26-9
TEL 03-3649-8103 FAX03-3646-6011

■堺工場
〒592-8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町 13-12
TEL 072-268-0322 FAX072-269-2810

■札幌出張所
〒003-0824 札幌市白石区菊水元町四条 1 丁目 2-1
TEL 011-598-6814 FAX011-598-6824

■グローバルセンター
〒592-0001 大阪府高石市高砂 3-44
TEL 072-268-0323

■森夏化工科技(上海)有限公司
〒201402 上海市奉贤区大叶公路 2058 弄 16-1 号
TEL +81-21-57406320 FAX +81-21-57402721